

平成5年度 和歌山県文化奨励賞

た なか のぼる
田 中 登 (芸名 桂 文福)

住 所：大阪府東大阪市

出 身 地：和歌山県那賀郡桃山町

生 年：昭和28年

◎業績及び経歴

昭和46年和歌山県立粉河高校卒業。昭和47年に三代目小文枝(現五代目桂文枝)に入門。3年間の修業の後、寄席やテレビ、ラジオで活躍。和歌山県橋本市で昭和49年より10年間「紀の川寄席」を連続125回公演し、現在全国市町村で「落語で村おこし」を合言葉に「ふるさと寄席」のリーダーとして若手をひっぱっている。

また、「紀の国大使」として県外から豊富な体験を通じていろんな角度から提言をされ、幅広く活躍されているところであり本県の文化振興に大いに寄与されている。

■現在

和歌山県農業大学特別講師

■主な著書

「桂文福の笑いと涙の勝ち名のり」(六法出版社)

「丸い土俵と四角い座ぶとん」(浪速社)

「文福の楽屋ほのぼの噺」(浪速社)